

審議会等会議録

審議会等の名称	平成19年度 第2回山口市環境審議会
開催日時	平成19年11月 2日(金曜日) 10:00~12:00
開催場所	山口市役所3階 第10・11会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	中西弘(会長)、伊原靖二(副会長)、荒瀬安秀、糸原義人、上重一枝、浮田正夫、遠藤克彦、久保田佳子、水津洋志、藤原俊廣、船越健行、前田哲男、前田幸子、安光幹治、山本翠 (15人)
欠席者	無し
事務局	(環境部): 山本部長、益本次長、安光参事、 (環境保全課): 飯田ISO推進室長、兼富副主幹、田中副主幹、富永主査、藤田主任主事、高村主事 (㈱オリエンタルコンサルタンツ): 大谷山口事務所長、篠原技術主査 (11人)
議題	山口市環境基本計画の策定について 1) 環境基本計画について 2) 山口市環境審議会(仮称)山口市環境基本計画策定部会の設置について
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 1 副市長挨拶 2 諮問 「山口市環境基本計画の策定について」の諮問書を副市長より会長に提出。 (提出後、副市長は公務のため退席) 3 審議 (1) 議題1「環境基本計画について」 配布資料に沿って、「環境基本計画策定方針の要点及びスケジュール」「環境基本計画」について事務局から説明の後、会長の進行により審議に入った。 <会長> 事務局から環境基本計画についての説明がございましたが、何かご意見がございましたらお願いします。 <委員> アンケートの内容や程度について可能な範囲で説明をお願いします。 <事務局> それではアンケートの内容につきまして御説明させていただきます。先程から申し上げておりますように市民の方、事業者の方、民間の団体の方、あと小

中学生へのアンケートを想定しております。市民、事業者の方につきましては、ある程度、環境基本計画が環境に関する様々な分野が網羅されておるといこともございまして、相対的な環境分野についての御質問、今後市民の方、事業者の方として、どのような取り組みをしたら良いかなどの内容を主に聞き取ります。民間団体の方につきましても、御自分たちの活動、今後はどのような活動が必要であるかなどの内容をお聞きしたいと考えております。小中学生につきましては、身近な環境等についてどのように思っているか、環境をよくするためにはどうしたら良いかなどの内容をお聞きしたいと考えております。

<会長>

よろしいでしょうか。それでは他に質問等ございませんか。

<委員>

総合計画が発表されておりました、環境基本計画はその総合計画と整合性を図りながら策定するということですが、総合計画がはっきりしないので、注意をすべき点などの説明をお願いしたい。

<事務局>

総合計画につきましては、新市では初めて出来たわけですが、基本構想部分においては地方自治法に基づく議決事項になりますので、今年の6月議会で可決いたしております。それともう一つ、基本計画、実際にはまちづくり計画と言っておりますが、基本計画部分につきましてはほぼ完成し、この秋に公表予定ということになっております。既にパブリックコメントをしておりますので案につきましては、現在ホームページ等に出しております。いずれにいたしましても総合計画は、総合的な行政計画ということでございまして、すべての分野を網羅したもので、とりわけその中で環境分野というのがあります。ごみの問題や環境保全の問題等でございます。どうしても総合的な計画という性格から、なかなか具体的なものがなく、思想を汲み取ってそれを環境基本計画へ反映していくという図式になります。ですから、総合計画の理念、あるいは考え方を十分に踏まえて環境基本計画を構築していくという関係になろうかと思っております。当然整合性を図っていくべきことですので、総合計画が完成しましたら、委員の皆様にお見せしたいと考えております。

<委員>

平行して、進められているまちづくり審議会を評して審議会と言うのでしょうか。都市計画審議会などとは違うのですか。

<事務局>

まちづくり審議会でございますが、これはもともと合併時の協定事項です。要はその各市域単位(旧市、旧町)にそれぞれ一つずつ出来ております。これは、合併特例法の中に地域審議会というのがございまして、合併後の不安等を払拭するためにその地域の意見を吸い上げるという考えをもとにできたものでございます。実際のまちづくり審議会の所掌といたしましては、ひとつに新市建設

計画がございます。これは合併時に策定した計画で、合併前においては合併の判断材料となり、合併後におきましては総合計画ができるまでのマスタープランといった性格がございます。この新市建設計画に各(旧)市町の実体事案が盛り込まれており、その進捗状況のチェックを行っています。この度の総合計画についても、まちづくり審議会に諮問し、答申を受けております。それから市長が認める重要事項ということで、あらゆるものをまちづくり審議会の土俵の上にあげて審議いたします。以上のことから環境基本計画の考え方といたしましては、旧4町の地域性、あるいは固有のもの等を十分に汲み取っていく必要があるかということで、各地域のまちづくり審議会を活用してまいりたいと考えております。以上でございます。

<会長>

他に何か意見はございませんか。

<委員>

— 意見なし —

<会長>

特になければ只今の「環境基本計画について」の議題についての審議を終わりたいと思います。

(2)議題2「山口市環境審議会(仮称)山口市環境基本計画策定部会について」

<会長>

次の議題でございますが、山口市環境審議会の山口市環境基本計画策定部会の設置について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

山口市環境基本計画策定部会の意義や形態等について説明。

<会長>

山口市環境基本計画策定部会の設置について、ただいま事務局から説明がありました。何か御質問はございませんか。

<委員>

— 各委員とも意見なし —

<会長>

特に御意見がないようでしたら、山口市環境審議会山口市環境基本計画策定部会の設置について、ただいま事務局から説明がございましたが、これを承認してよろしいでしょうか。

<委員>

— 各委員とも異議なし —

<会長>

それでは、山口市環境審議会山口市環境基本計画策定部会の設置について、ただいま事務局の説明のとおり承認させていただきます。

以上で、山口市環境基本計画策定についての審議は終わりとなります。

この次に予定しておりますのが「テーマ討論」でございます。これまで環境基本計画についての説明をお聞きしたところでございますが、委員の皆さんから環境基本計画を策定するうえで環境を良くするために山口市で重点的に取り組むべき事項、課題、意見等をいただきたいと思っております。今日はそのテーマ討論についての概略を事務局から説明をおねがいします。

<事務局>

「テーマ討論」について、資料に沿って説明。

<会長>

テーマ討論につきましては、環境を良くするために山口市が重点的に取り組むべき事項、課題について、委員の皆さんから忌憚のない御意見を賜りたいということでございます。では御自由に発言をお願いします。

<委員>

環境に配慮した省エネを促進する取り組みとして、環境認証で代表的な国際規格ISO14001取得を目指して市はキックオフされております。その件で御提案申し上げたいと思っております。この国際規格の取得には100万円程度、それにコンサルティングの費用を含めると数百万円はかかると言われており、取得後も年1回の定期検査や3年ごとの更新の審査が必要となります。これを取得して環境行政に活用することは、まことに結構ですが、市が積極的に事業所等に環境問題を推進するためには、このISO14001と同程度の要求水準で、約30万円の費用で取得可能な環境認証制度もありますので、こういったものを研究されたらどうかと思っております。費用も安いため、中小企業などには適当ではないかと思っております。現に、環境認証のモデル事業を行い、認証取得企業に補助制度を設けておる市もございまして、山口市としてもそういう点をより充実し、推進していただければと思っております。

<会長>

はい、どうもありがとうございます。市は、ISO14001のキックオフをされましたが、それに変わる簡易な方法があるという、これも御意見として伺っておきたいと思っております。

<事務局>

今おっしゃいました簡易な環境マネジメントシステム、例えばエコアクションなどを言われたのであろうかと思っておりますが、山口市としましては、来年秋のISO14001の取得に向け、現在準備を進めております。山口市がISO認証取得いたしましたノウハウを、取得後は、積極的に事業者さん等へと還元していきたいと考えております。確かに費用的な部分では、簡易なものと同程度では、それなりの差はございます。しかし、国際規格ということで、ステータスあるいは波及効果といったものも期待されますので、将来の環境保全に向けた種まき、投資というふうに御理解いただければと思っております。

<会長>

はい、そういう御回答でございます。では、今のテーマ討論につきまして環境基本計画に関する感想等、忌憚のない意見を伺いたいと思います。他の方ございませんか。

<委員>

皆さんご存知のように、中山間地域のほうでは耕作放棄が非常に出ておりますので、その荒れた耕地をきれいにさせていただきたい。ただ単に景観を維持するというのではなく、将来の安全と一緒に含めて、環境を保全していただければと思います。それとまちづくりのそのもののシステムです。例えば農林業関係で今使うのは化石燃料ですが、代替エネルギーの利用や廃物を利用して、それをまた還元して肥料などに活用する循環型農業、そのようなりサイクルシステムをまちづくりと関係しながら構築するということで、廃物が少なくなるようにさせていただきたいと思います。

あと、個人的には、これからの環境問題、環境に配慮したまちづくりについて従来の延長線で考えるのではなく、新しい飛躍的な考え、発想で、環境計画を立ててもらいたいと思います。今、われわれは石油エネルギー、最近では風力発電などもでてきております。例えば風力を活用した1つの仕組みを考えたときには、これはただ単に環境面だけではなく、町並みなどの景観への配慮が必要になり、どうしても全体的なまちづくりに係わってきます。そうした時に、市としてどのような環境まちづくりをしていくか、これがとても大切になると思います。それらを想定しながら、山口市のコンセプトを構築し、環境基本計画に反映させていただきたいと思います。

<会長>

ありがとうございました。他の方ございませんか。

<委員>

今日のテーマ討論の例に水を大切に、化学物質を減らそうということができております。化学物質を減らすということは汚染物質を減らそうということですが、その中で水の大切さというものをキーワードにしたら良いかと思えます。地球は水の惑星などといわれておりますが、次第に汚くなっていて、きれいな水を手に入れることが非常に難しくなっています。そういったものをもう少しアピールしていかなくてはならないと思っております。現在、川をきれいにしようということで樫野川のクリーンキャンペーンというものに取り組んでいますが、もっと踏み込んで、水のことに取り組んだら良いかと思えます。現在の樫野川では比較的きれいな水が流れておりますが、川が汚れていくと、そういうきれいな水を得るためにもっと高度な浄水処理等をしていかなければなりません。ですから、そういう水を主題にして、省エネとかクリーンなどのテーマをもう少し捉えていってほしいと私は思います。

<会長>

ありがとうございます。水をきれいにすべきだという御意見でした。それでは、皆さん順番に発言をお願いいたします。

<委員>

私は山に登っておりますが、山がきれいでないと水があまりきれいにはなりません。山口の山は600m、700m級の山ですけど、かなりよく整備されておりまして、そのおかげで私は榎野川の水が切れることなくまんまと湛えているのだろーと思っております。やはり、「水を大切に」ということは山と川を大切にすること、そして、自然のダムである田んぼを大切にすることだと思います。山に登るとき、奥のほうに入りますと減反などでかなり田んぼが荒れておりますので、それを見るときちょっと胸が痛みます。そういう減反の田んぼに、たいへんな作業になるとは思いますが、菜の花などを植えると、この山口の中でもかなりのエネルギーが表出できるのではないかと思います。それと、温暖化トメリンピックがニューメディアプラザで開催され、温暖化防止に実際取り組んでいる事業所等が発表をされました。その中で山口市が廃油を回収し、それをゴミ収集車の燃料として再利用されているということをお聞きしたのですが、どのくらいの分量を集めて、動いているのかを伺いたいと思います。

<会長>

ありがとうございます。廃油の事業について、事務局から説明をお願いしますか。

<事務局>

平成17年度の生成量確定値で7,780ℓになっております。月あたり650ℓでゴミ収集車4台を動かしておるということです。

<事務局>

これは旧小郡町の事業でございまして、回収量としては、個別に中継ステーションを設けて各家庭からの受入れもいただいておりますが、小郡の学校給食が一番多くなっております。現在、廃てんぷら油の廃油でパッカー車4台分については賄っているということでございます。

<会長>

では、次の方をお願いします。

<委員>

まず、地域資源の利用ということに関係するかもしれないですが、山口市は他から見ると非常に緑が多い町ですので、里山や農村環境を保全していくということを重点に掲げるべきではないかと思っております。それに関連して、当然、榎野川、佐波川、両方とも水がきれいですのでこの清流を保全する。また、緑が多く浸透面が多いということは比較的涼しいという環境ですので、それを守っていかなければいけないと思います。それと先程も意見がありましたが、これからは生ごみの資源化を考えないといけないと思います。バイオや堆肥もありますが、将来的なことを見据えて市は取り組まなければならないのではない

かと思っております。そして、そのような取り組みを、市民が支援していくという仕組みが非常に重要だと思いますので、その部分を重点施策に掲げていただければ良いと思います。それからもう1点ですが、これからは国際的に考えていかなければならないので、山口市の市民が地球市民になるだけでなく、お隣の中国などの人たちにも地球市民になっていただいて、環境を考えていかなければならないと思います。山口市は、大内氏の文化というのが非常に優れて、伝統がある訳ですので、非常に国際的で開かれている平和的な文化だろうと思います。今、世界遺産の登録に、非常に努力されているとは思いますが、それをいっそう推進し、また観光の振興につきましても同様に進めていただきたいと思っております。

<会長>

どうもありがとうございます。では次の方をお願いします。

<委員>

山口市は、山林が多いですので、それをしっかり管理するシステムを考えないといけない。ただ山間地の廃地を減らすというだけではちょっと足りないと感じます。もう一つは、山間地はどんどん人が減っていくという問題を抱えているので、そこを重点的に、そこに対して市が、「町」から何が出来るか、逆に向こう「山間地」からこっちに何をしてもらえるか、特に観光面に対して考えないといけないと思います。だからそういう意味で、逆に山間地から町に何をしてもらえれば助かるかという事も、環境面を含めて考えていくことが必要だと思います。

<会長>

はい、どうもありがとうございました。では、順番をお願いします。

<委員>

私は、1人1人が車に乗る機会を少しでも減らしていくことができる環境づくりが大事なことではないかと思っております。今はどうしても車社会で、細い道を車が横行し、車優先になっている所が多いので、ちょっと歩いて買い物に行こうかなと思っても、危険だから車で行こうかということがよくあります。例えば、川の両側に同じような道がある場合でしたら、どちらも車を普通に通行させるのではなくて、片方を通行止めにしたたり、両方それぞれ一方通行にしたたりするような方法をとることで、車がすごく不便になるようになれば、近所に用事があるくらいであれば歩いて出かけようかという気持ちにもなると思えます。皆さんの車に乗る機会が少しでも減るように、人が安心して歩いて行動できるような環境になれば良いと思います。

<会長>

はい、どうもありがとうございます。車社会への御意見でございました。では、次の方よろしくをお願いします。

<委員>

私は水産関係の仕事を退いて5、6年になります。その仕事に携わっていた側からいうと、秋穂湾や山口市の他の海岸はきれいですので、そういう面での役割を山口市の中で担っていかなければいけないだろうと思います。ただ、水が非常にきれいだというだけでは、産業の面では両立がなかなか難しいと思います。そう言いますのは、30年も40年も前はあさりもすごく取れておりましたし、のりなどもたくさん捕れておりました。それが現在では激減をしております、ほとんど捕れない。昔は、あさりなどはとろ箱で捕れておったんですが、. . .。私どもがそういう仕事をしてきた立場から現在がありますし、非常に残念な思いもしています。山口湾では、周防大橋の支柱辺で青のりがものすごく捕れており、お年寄りがそれに取り組んでいて、私どもはいろいろ加勢をしてきましたが、それすら今は困難な状況になっています。その水がすごくきれいになっておるのか、ある部分の汚染物質が影響しておるのかなど、それは難しい問題で簡単には解決できませんが、時間はかかっても、いずれまた、昔のようになれば良いなと思っております。

<会長>

どうもありがとうございます。特に水産資源の関連からの意見でした。では、次の方よろしくをお願いします。

<委員>

先程もISO14001の話でありましたが、私は企業で、環境管理責任者と省エネに関してはエネルギー管理士という立場を兼任しておりますが、そういったところを踏まえて2点ほど考えていることを述べさせていただきたいと思います。まず、1点は非常に長期的な話ですが、人づくりという点です。地球温暖化、省エネを例にさせていただきますと、企業活動でのエネルギー消費量というのは、このところ変わっておらず、民生部門が非常に増えていることが、地球温暖化の現状の大きな原因になっております。そうすると1人1人の意識でこれを減らしていくしかないということになります。ものを大切に、無駄をしない、こういったところはとにかく個人レベルで教育していかなければならないと思います。これから10年、20年先にもずっと続いていく話ですから、特にこのような面を自分で考えられる山口市民、そういった人づくりが非常に大切ではないかと、それがすべての省エネなどに繋がると思います。このような教育に是非、力を入れていただきたいと思います。

あとはごみの問題です。ペットボトルの問題を例に出しますが、私どもの町内会でもリサイクルということでこれを回収しております。これを集めるのでさえ、すごくエネルギーがかかり、集めてさらにリサイクルするにもすごくエネルギーがかかっているわけです。本当にペットボトルを集めることが良いのかどうか。ごみの処理が、世間一般ではリサイクルするのは良いと言われているからそうするのか。そうではなくて、実際にそれを化石燃料として燃やして、そのエネルギーとして使うのが一番良いのではないかなど、最終的なトータル

なエネルギーで何が一番少なくて済むのかというのをよく考えて取り組まないといけないと思います。ただ単に今の世間で言われているリサイクルという形に流されてしまうと、かえって無駄なエネルギーを浪費し、自分たちが良かれと思い努力をして取り組んだことが、結局は地球に悪影響を及ぼしていることもあり得るわけです。特にごみの問題は、そういったところまで考えなければいけないと思います。結局は温暖化というのは地球から化石燃料がなくなる限りは続くわけで、私たちができるのはそのカーブを緩やかにするということだけだと思います。資源物をいかに有効に使うか、またどういう処分をするのかなど、今後、山口市の職務として取り組んでいただきたいと私は考えております。

<会長>

どうもありがとうございます。

<委員>

山口市の方にお尋ねしたいと思いますが、ごみの分別でプラスチック類が各自治体によっては焼却炉が整備され、焼却処分をしてしまうところが多くなったというのを新聞で拝見しましたが、山口市は今後、どういう見込みをされているのでしょうか。

それから、私は自分が車に乗って移動しているのですが、バス停に空っぽのバスが時間待ちをしているのを見ると、いつも、とても気が重たく感じます。先日、京都へ行って参りましたが、京都では、バス、電車、地下鉄があり、観光客にとっても安く、フリー切符で一日観光できるように路線も細やかです。そして、生活をされている地元の方もよく利用されて、料金が均一220円という循環の切符があり、100円バスももちろん走っています。長距離は電車や循環型のバスを使い、生活にも困らないと地元の方も話されていました。山口にこれをすべて当てはめるには難しい面も多いですが、市民の方の動向をしっかりと調査をしたうえで、団地とか停留所に行くまでに遠いところは100円バスの小さなバスで、長距離は時間がかかり空いても良いですから路線をしっかりと組み、それから山口の市街地など便利なところは料金を安くし、停留所の間隔をとっても細やかにして循環させる形にすれば、バスの利用はきっと増えると思います。私は自分が車を運転する機会があるたびにこのままではいけないと感じています。公共交通機関をもっと利用できる山口市になれば良いと思います。

<会長>

どうもありがとうございます。京都の事例でいろいろこちらと比較していただきました。では、次の方をお願いします。

<委員>

山口市は平成13年に環境基本計画を策定しておりますが、その時にもアンケートをして、住民、事業所の意識を聞かれております。現時点における住民

や事業所の意識がどのように変わってきているのか、それともう1つ新しく合併した旧町の方々がどのような意識なのかということをも是非とも知りたと思っています。それとこの計画の中で重点プロジェクトが4つ掲げられていますが、私はこの時に策定委員ではございませんでしたが、このプロジェクトはなかなか優れたものではないかと思えます。例えば多様な生物との共生プロジェクトや生ごみの循環利用プロジェクトなどですが、是非合併してこれが消え去るのではなくて、この重点プロジェクトが充実するような形にさせていただきたいと思っています。最後に、山口市の場合は国の施策と連携している動きがございます。1つ代表的なものは徳地の森林セラピー基地などですが、こういう活動等、今後の発展にむけて、それを支えていただきたいと思います。また、もはや自然を保全していくというレベルではなく、再生していこうという動きもでてきており、自然再生推進法という法律に基づき、榎野川の河口の干潟再生の協議会というものができております。この自然再生は単なる行政だけの仕事ではなく、様々な主体が参加して協議会を作り、再生していこうという動きになっております。こういう協議会組織が、合併された山口市内に多数登場してくるような施策展開を、市にお願いしたいと思っています。以上でございます。

<会長>

どうもありがとうございます。では、次の方どうぞ。

<委員>

私の意見を申し上げますと、やはり意識の点が将来重要になってくると思えます。市民の意識の向上をどのように図っていき、それを現実のものにしていくのかというところが、これから先の一番大きな課題になってくると思えます。徳地の状況を申し上げますと、国有林は3千ha、県有林が3千ha、民有林が3千ha、約1万haの山林がありますが住民は500人しかおりません。500人でその1万haの山林を管理するも何も出来るどころではありません。これを今からどのように改善をしていくのか、ただ行政に要求をするだけでは、なかなか難しいのではないかと感じています。今、これだけガソリンが値上がりしまして、燃料費という面では非常に時代的に難しい方向へ向いておるように思いますが、間伐材をどうにかエネルギー化していく方策がないものかと…。最近では建築廃材からでもガソリンができるというのをニュースで読んだこともありますので、そのあたりを利用できれば良いのではないかと考えています。私どもも里山を守りたいと思えますが何せ人がおりません。このような状況下で、ある程度経済効果を加味しながら将来の問題を考えると、やはり、山林資源の活用以外に方法はないと私は思っています。

<会長>

どうもありがとうございます。では、次の方どうぞ。

<委員>

私は緑地の保全ということでお話をしたいと思います。樹木医という仕事の立場上、いろんな公園、個々の緑地の診断・治療等を行っておりますが、山口市で特に気になるのが、公園に良く植えられておりますソメイヨシノです。たくさん植えられておりますが管理が不十分です。特に桜の場合は、てんぐ巢病、あるいは葉っぱを食べるモンクロシヤチホコのような害虫などの発生がたいへん多発しております。そのような桜でもきちんと管理をすれば良く育ちますし、壮麗でございます。ソメイヨシノは一般には短命で、すごく木が弱っていくといわれていますが、良く管理をしたうえで、是非、後河原や木戸公園の桜、方々に植えておる桜も経費を払って保全していただきたい。それともう1点ですが、最近マツクイムシが非常に多くなっております。山口盆地から松が無くなっていくのではないかなという杞憂を持っております。やはり樹木も生き物でございますので、やっぱり適正な管理は重要ですので併せて管理していただければと思います。それから、山口市は合併しまして、一の坂ダム、荒谷ダム、佐波川ダムなどがあるのですが、上流部の森林は是非きちんと整備しないと、水源を確保する上でもたいへん問題があると思います。特に台風災害、暴風雨被害にあったままの森林を放置し、その範囲が広がると森林の土壌が持っている保水性が失われてしまいます。これを早く修復しなければ、せっかくダムを造っていても、暴風雨時には、雨以外にも大量の土砂が流入するなどして、将来的にダムを埋めてしまうといった危険性もはらんでいます。そういう面でダム上流域の水源周辺の整備を是非していただきたいと私は思います。それから、地球温暖化についてですが、先程言ったマツクイムシ(マツノザイセンチュウ・マツノマダラカミキリ)の発生時期が2週間程度早まっております。この影響で薬剤防御が遅れ、松が枯れてしまうという状況にもなっています。また、昨日、釣り好きの友人から聞いた話では、海水温が高く、例年ならば9、10月に釣れる魚が今年は11月になりようやく釣れたとのことでした。このように地球温暖化の影響が私の身近なところでもいろんな現象として起きております。私は温暖化が進んでいくと、山口市の場合は、西鳳翻山と物見ヶ岳周辺のブナが、最も影響を受けるのではないかと思います。35℃以上の気温が何十日も続くような気象状況になってきますとブナの生育はたいへん困難で、いずれ山口県の山林からブナが消滅していくのではないかと危惧されます。地球温暖化の防止は、県民、市民1人1人がこれから志していかなければならない重要な問題ではないかと思います。

<会長>

どうもありがとうございます。

<委員>

先程もアサリなどいろいろな干潟の生物がいなくなったという御意見がありましたが、遺跡や貝塚が示しているとおおり、縄文時代から最近までずっと、山口湾ではアサリよりも蛤のほうが多かったと、私ほうかっております。昭和

60年代になりますと、非常に瀬戸内海は富栄養化しまして、公害などが問題化した時点でアサリがどっと増えたということも聞いておりますので、私は元に戻ったのではないかという気もしております。とにかく干潟についてはきら博のことも含めて、施設を造ったり、どんどん干潟を埋め立てたりと、土木建築業者には良いのですが、いろいろな意味で水産従事者にとっては非常に有難い場所がなくなっております。山口市が施設や構造物を建てられる場合は、最終処分場の問題もありますが、絶対に干潟には造って欲しくないときっぱり言いたいと思います。それから水質面についてですが、リンや窒素等が削減されて、非常にきれいな水ではあるんですが、有毒な PCB や環境ホルモンを誘発する物質などについてももしっかり監視していただいて、きれいな水を最終である海へ流していただきたいと思っております。また、山口市は旅館やホテルが多い湯田がありますが、聞くところによると非常に豪華な食事で朝も夜もたくさんの品数を出しまして、かなり余るというようなお話も聞いております。その量を減らして、その分旅館代を安くしていただいたほうが、ひよっとしたらお客さんも集まるのではないかと思います。そういった形で残飯があまり出ないように、ごみの現状に対して、行政から指導していただければと思います。以上です。

<会長>

どうもありがとうございます。ひととおり貴重なご意見をいただきました。特に山口市として、日頃からやっていたら、御尽力いただいているとは思いますが、これを環境基本計画に、是非、可能な限り生かしていただきたいと思っております。

<事務局>

先程、プラスチック類の今後はという御質問がございましたが、現在容器リサイクル法に基づいてリサイクルを行っております。ダイオキシン対策を全国的に厚生労働省がアピールしたということもあり、最近では都会のほうで焼却による熱利用等が増加の傾向にあるようです。ただ、山口市の今の方向性としたしましては、容器リサイクル法に基づいてリサイクルを推進するような形で計画を立てていきたいと考えております。

<会長>

みなさんよろしいでしょうか。それではテーマ討論についてはこれで終わりたいと思っております。あとは報告事項でございますので事務局からお願いします。

4 報告事項

(1) ISO14001 認証取得事業について

<事務局>

ISO14001 認証取得への取り組みや環境基本計画への関連性について、資料に沿って説明。

	<p><会長> はい。どうもありがとうございます。今の報告について御質問はございますか。</p> <p><委員> — 各委員とも意見なし —</p> <p><会長> これは、今日のテーマでもございますし、行政として積極的に取り組んでいただくということでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、山口市の一般廃物最終処分場施設整備事業について、事務局からよろしくお願ひします。</p> <p>(2) 山口市一般廃棄物最終処分場施設整備事業について</p> <p><事務局> 山口市一般廃棄物最終処分場整備についての、これまでの経過やこれからのスケジュール等を資料に沿って説明。</p> <p><会長> はい。どうもありがとうございました。一般廃棄物最終処分場施設整備事業についてただいま説明いただきましたが、御質問・御意見はございませうか。</p> <p><委員> 事務局より説明がございましたが、具体的にはまだこれからでしょうが、地元の方とよく合意を図りながら進めていただきたいと思います。</p> <p><会長> よろしいですか。最後に予定しておるのはその他ということでございます。委員の皆様からの課題提供等、何かございましたらお願ひします。特にございませんでしたら、本日の議事は終了いたします。</p> <p>以上で会議を終了した。</p>
<p>会議資料</p>	<p>1 第2回山口市環境審議会次第及び席次</p> <p>2 第2回山口市環境審議会配布資料</p> <p>3 諮問書</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>環境部 環境保全課 環境企画担当</p> <p>TEL 083-941-2180</p>